

大阪市は「児相」への相談件数が全国一という憂慮すべき現実があり、私たちもその必要性は十分に承知しています。しかし、**なぜ安心・安全なマイホームと同じ場所に「児相」が設置されなければならないのでしょうか。**虐待を受けた子どもたちには、心を癒してくれる環境が必要です。保護施設といっても、軟禁状態で監視下におかれ、自由に外で遊べる場所もない。このような間に合わせの場所は、「児相」を利用する子どもたちにとっても、逆にかわいそうです。

私たち住民反対派は、深刻にこの問題をとらえ、どのような対応が望ましいか市議員や弁護士の先生に相談したところ、居住者及び所有者の「児相」への転用計画に反対の意思を集約し、住人メリットのある施設転用の再検討を要請すべく、市会に請願をおこなうことが、今の流れを変える唯一の方法であることがわかりました。しかも、**市会へ請願するタイミングは、ぎりぎり最後の機会となります！！**

「児相」への転用計画に反対のお考えをお持ちの方は、**8月31日(水)までに**、ウエスト棟1階のフロントに設置の投票箱に、行政による住民無視の勝手な決定に対する異議申し立ての意思表示をご提出ください。市会に請願しても事態は好転しないかもしれませんが、行動を起こすことが私たちの未来にとって何よりも大切なことと考えます。何卒、よろしくお願いいたします。

本件はマスコミにも取り上げられました。
ニュース映像がQRコードから見れます→



詳しくは、インターネット検索ワード：
児相 トラブル 大阪 など